

修了生の活躍事例

実践的な技術を学べる福山能開短大に進学

商業高校出身でしたが、幅広い知識と技能が身に付くこと、また、機械や設備、CAD等のソフトウェアを実際に扱って学べる環境があること、さらに、短期間に集中して専門知識と技術を学べることから、福山職業能力開発短期大学の電子情報技術科に進学しました。

同級生には工業高校の出身者も多く不安もありました。しかし、科の先生方が親身になって指導して下さったので基礎からしっかり学び、さらに質問しやすい環境で安心して座学と実習で学ぶことができました。充実したカリキュラムのもと、機器を使用しながら学ぶことができるので、「実際に経験したことがある」という体験する強みを得る事ができます。

CADをマスターしたことが今に生きる

電子情報技術科では、電子回路や基板製作実習を通じて設計の基礎やCAD操作を学びました。

入社配属後は、CAD操作に戸惑うことなく業務に取り組むことができ、プリント基板AW設計業務で、実装工程を考慮した設計に授業で習得した知識や技術を活かしています。

タカヤ株式会社

西部 佑来 さん(23)

福山職業能力開発短期大学校

専門課程

電子情報技術科

令和5年度 修了



難易度の高い案件にも積極的に携われる技術者を目指して

現在はプリント基板設計業務に取り組み、設計経験を積み重ねることを目標としています。さまざまな案件を経験して設計技術や知識の向上に努め、製品ごとの要求仕様や設計上の課題に対応できる実践力を身に付けたいと考えています。

品質・生産性を意識した設計スキルを磨き、将来的にはより難易度の高い案件にも積極的に携われる技術者を目指しています。

就職先企業での活躍

西部佑来さんの業務

生産技術課に所属して日々プリント基板設計業務に取り組んでいます。電子情報技術科で学んだCADソフトを就職先企業でも使用しています。

お客様によりよい製品を届けるために、品質や納期に日々心がけて生産作業を行っています。

上司からの声 係長 西田健二 様

入社後より基板AW設計に関する専門知識や技術の習得に取り組み、現在では担当業務を自立して遂行できるレベルに成長しております。主体的に顧客とコミュニケーションを図り、仕様確認や課題対応等を実施できるようになっており、着実に成長している姿が見られます。

また、案件ごと進捗状況を適切に把握し、経験を重ねるごとに判断力や対応力が向上しており、今後のさらなる成長が期待されます。

タカヤ株式会社 (岡山県井原市)

当社は、1894年(明治27年)創業 / 1966年(昭和41年)設立の創業100年を超える歴史を持ち、繊維業からエレクトロニクス産業へと変革を遂げた総合エレクトロニクスメーカー・ITソリューション企業です。もともとは井原市の伝統産業である「井原デニム」等の繊維(織物)業からスタートし、時代の変化に合わせて電子・情報分野へと劇的な事業構造改革を成功させました。フライングブローベスタをはじめとする自社製品は、日本国内にとどまらず、アジア、北米、欧州など世界中の製造現場で導入されています。タカヤグループとして、繊維事業を引き継ぐ企業やアパレル関連、IT関連など多様なグループ会社を展開し、地元井原市の雇用や経済を支える中核企業の一つとなっています。

(事業内容)

産業用装置事業(インサーキットテスト):プリント基板の検査に使用する「フライングブローベスタ(基板検査装置)」

EMS事業(電子機器受託製造サービス):電子回路の設計から基板実装、完成品の組み立て・検査までを一貫して請け負います。

ITソリューション・RFID事業:RFID(ICタグ・アパレル向け管理システムなど)の機器開発やシステム構築に強みがあります。

現在、福山職業能力開発短期大学校の修了生9名が活躍

